

# 各種データの検証

---

光ファイバ投資額、光ファイバケーブル長の推移

➡ 資料2 - 7

FTTHサービスエリアのより詳細な現状分析

➡ 作業中

ブロードバンド整備の経済効果(社会的効用)

➡ 資料2 - 8 (算出方法の考え方を提示)

ブロードバンドの普及予測

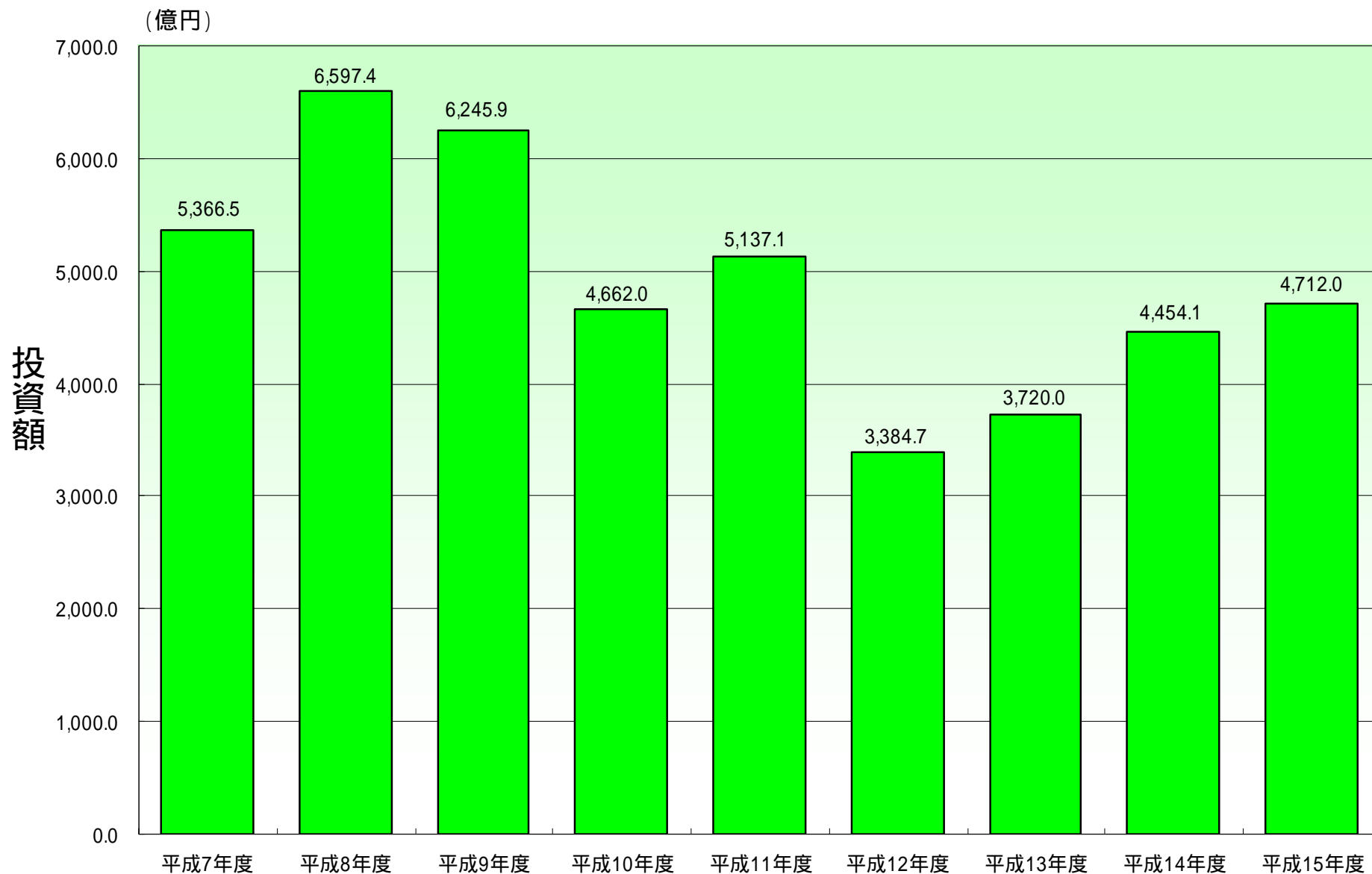
➡ 今後の検討事項

標準収支モデルの策定(損益分岐点の検証)

➡ 今後の検討事項

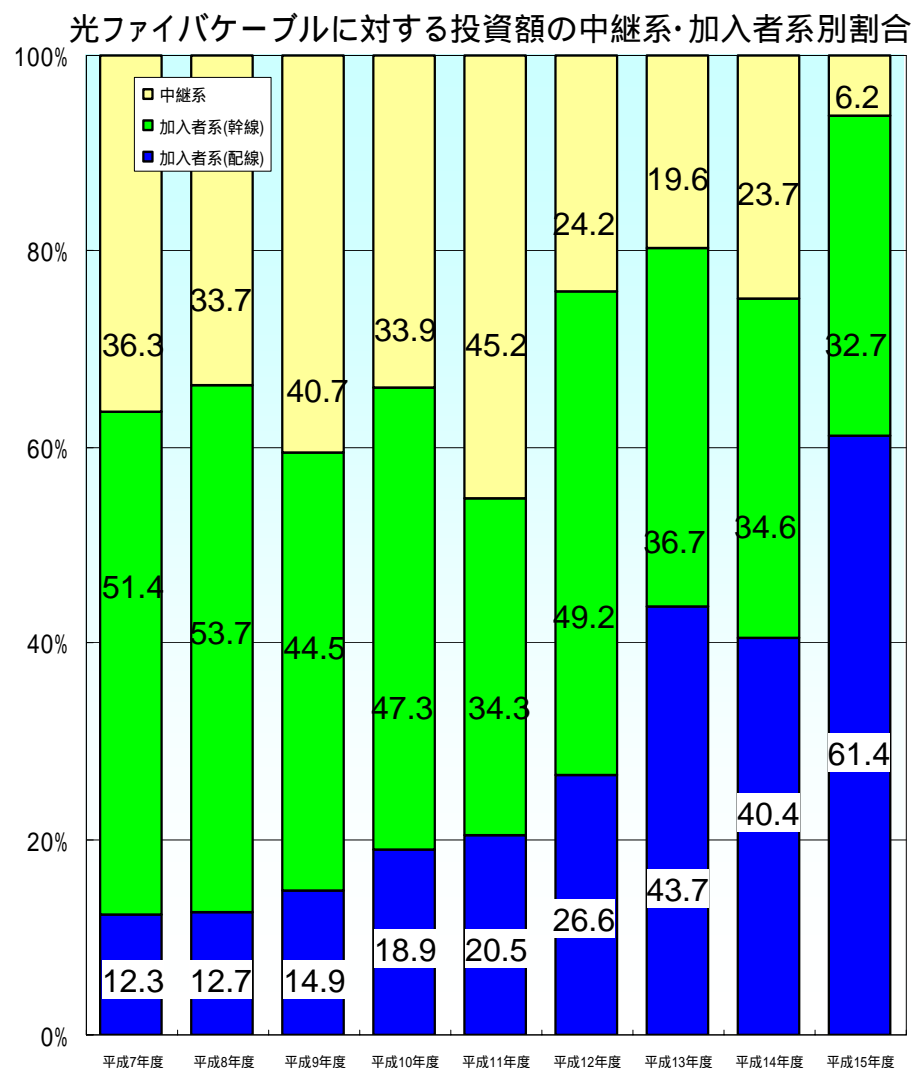
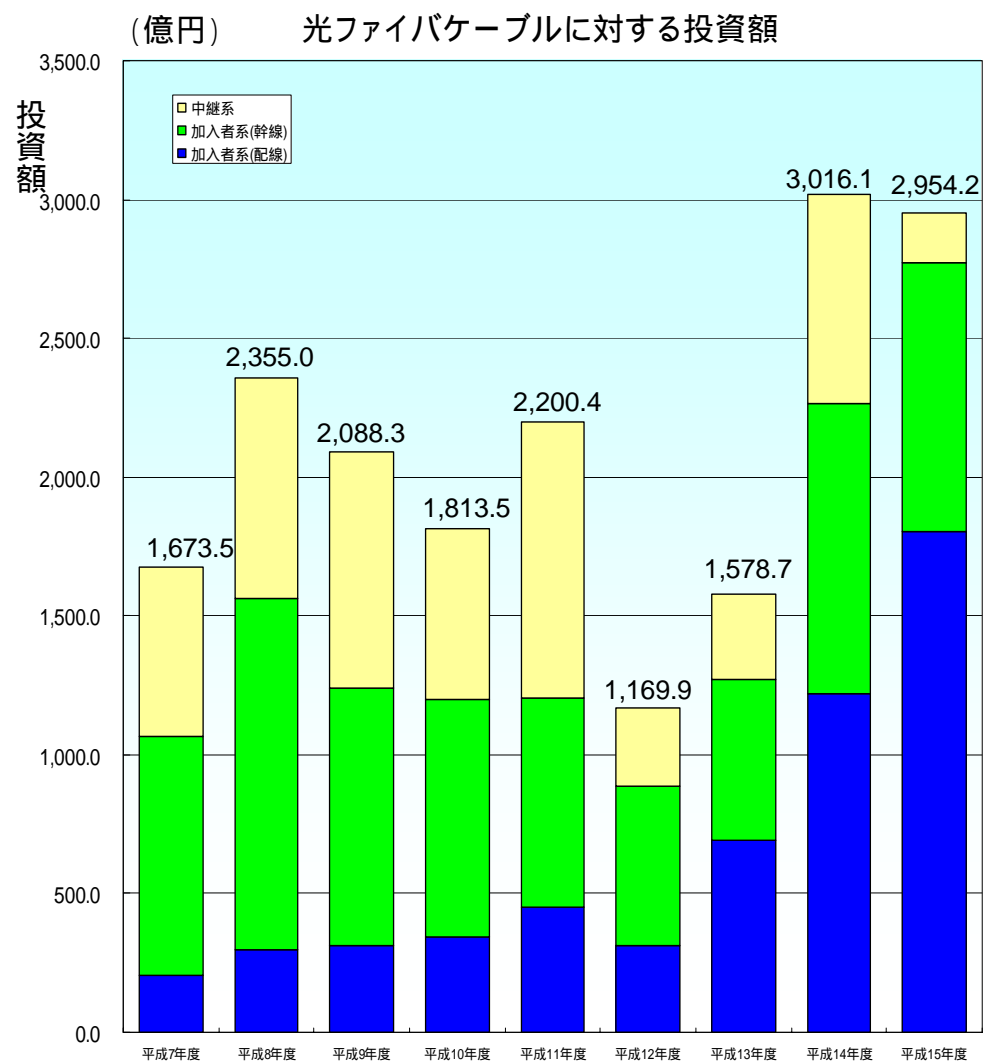
## 光ファイバ投資額、ケーブル長の推移

# 電気通信事業者による光ファイバ網に対する投資額の推移



総務省による事業者へのアンケート結果に基づく  
中継系光ファイバの平成11年度以前は、国際ケーブルを含む。  
投資額は、光ファイバケーブル、管路、各種伝送装置等への全投資額。

# 光ファイバケーブルに対する投資額の推移（中継系、加入者系別）

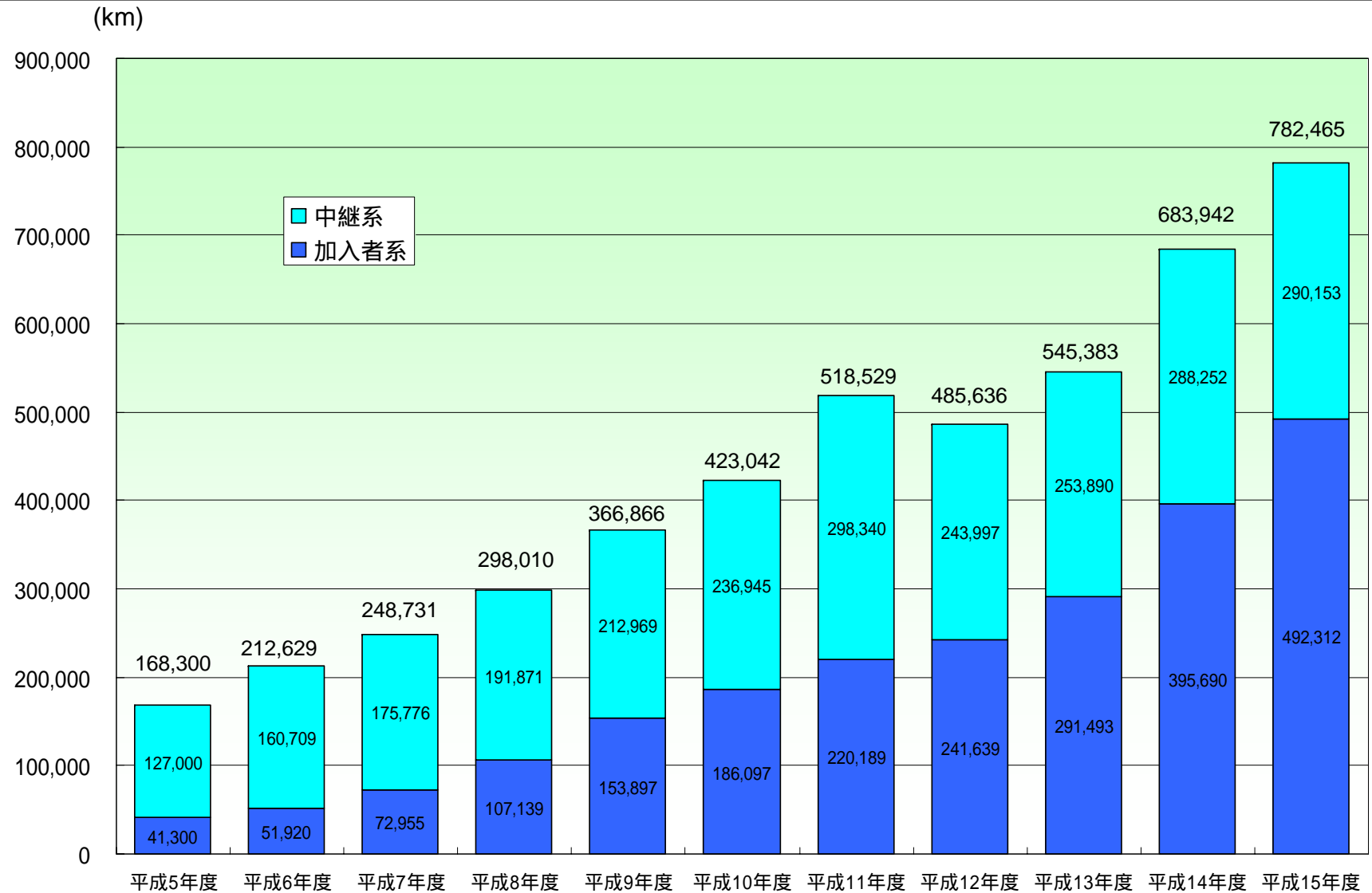


	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
中継系	607.8	793.0	848.9	614.2	994.6	282.6	308.8	751.9	181.8
加入者系(幹線)	859.9	1,264.2	929.3	857.1	755.4	576.1	579.5	1,044.4	966.2
加入者系(配線)	205.8	297.8	310.1	342.2	450.4	311.2	690.4	1,219.8	1,806.2
計	1,673.5	2,355.0	2,088.3	1,813.5	2,200.4	1,169.9	1,578.7	3,016.1	2,954.2

総務省による事業者へのアンケート結果に基づく  
 中継系光ファイバの平成11年度以前は、国際ケーブルを含む。

単位:億円  
2

# 光ファイバケーブル敷設距離（ケーブル長）の推移



ケーブル長は、ADSL事業者、衛星系事業者、移動体系事業者およびCATVを兼営する事業者の分を除く。  
 中継系とは、加入者系幹線、加入者系配線を除く、電気通信事業者内のネットワーク内の中継系伝送路。  
 加入者系とは加入者収容局内の端末系光幹線路から加入者宅内の光端末回線装置まで。  
 ケーブル長 = ケーブル巨長 × ケーブル条数。  
 中継系光ファイバの平成11年度以前は、国際ケーブルを含む。